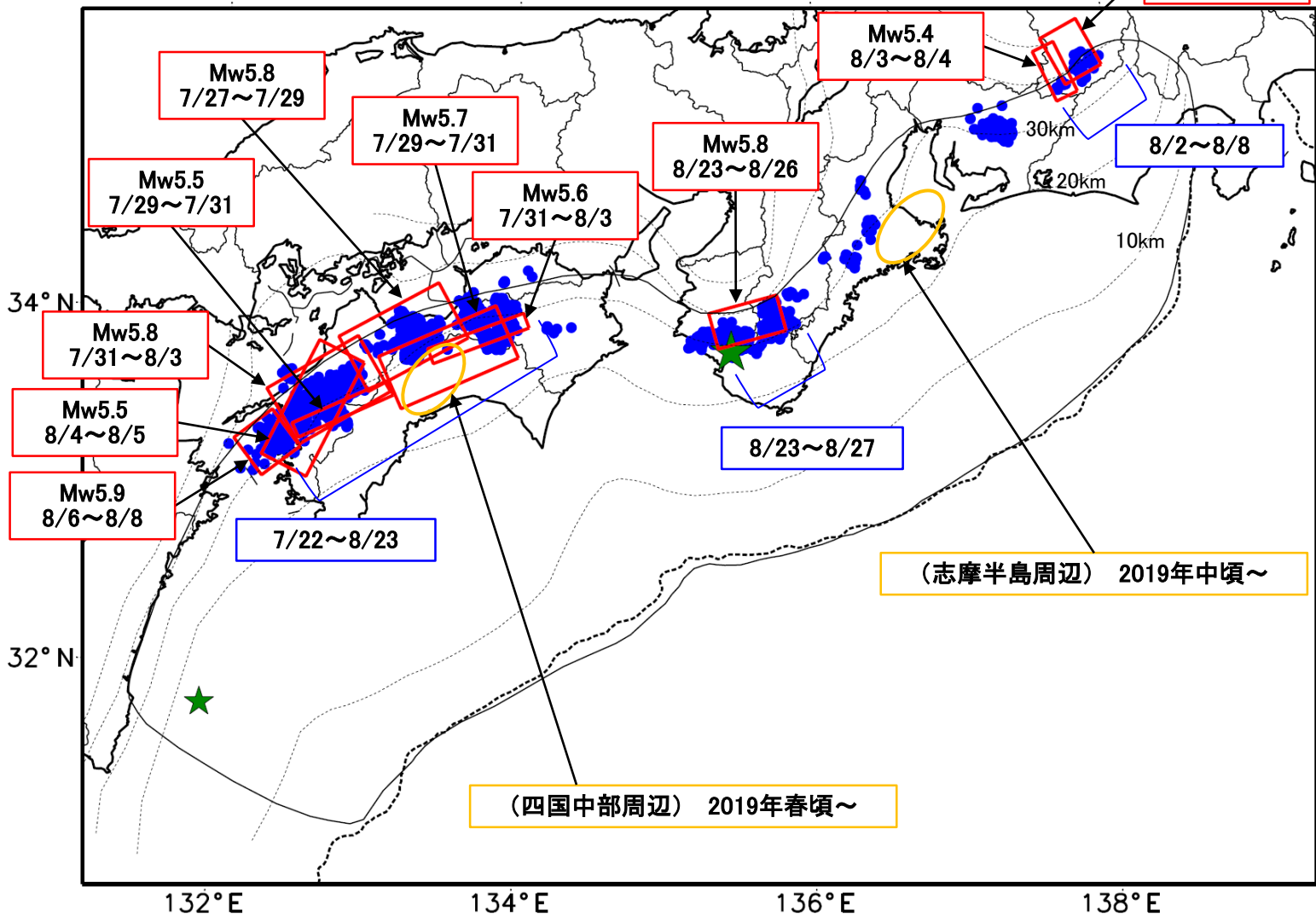


最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2020年7月22日～9月3日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度
3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、
Hirose et al.(2008), Baba
et al.(2002)によるフィリピン
海プレート上面の深さを
示す。

※M5.0以上の地震に吹き
出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【東海】気象庁の解析結果による。
 【紀伊半島中部から紀伊半島西部、四国東部から四国西部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺、志摩半島周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

※通常の地震は、8月1日以降のものを表示している。

令和2年8月1日～令和2年9月3日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
8/1	12:15	和歌山県南部	46	4.2	3	フィリピン海プレート内部
8/5	20:40	日向灘	25	3.5	-	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p><u>7月30日～8月5日</u> . . . (1)</p> <p>8月7日～8日</p> <p>8月15日～16日</p> <p>8月29日</p> <p>■四国中部</p> <p><u>7月22日～8月4日</u> . . . (1)</p> <p>8月6日、8月10日</p> <p>8月15日、</p> <p>8月19日～20日</p> <p>■四国西部</p> <p><u>7月29日～8月23日</u> . . . (1)</p> <p>8月28日～30日</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>8月3日</p> <p>8月7日</p> <p>8月27日</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>8月14日～15日</p> <p><u>8月23日～25日</u></p> <p><u>8月27日</u> } . . . (3)</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>8月2日～4日</p> <p>8月6日～7日</p> <p>8月13日</p> <p>8月15日</p> <p><u>8月24日～27日</u> . . . (3)</p>	<p><u>8月2日～8日</u> . . . (2)</p> <p>9月2日～（継続中）</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）～（3）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

気象庁作成